

コミュニティアドバイザー資格

一般社団法人地域福祉活動協会主催

1. 背景と目的

近年、地域コミュニティの活性化や社会課題の解決に取り組むニーズが企業間連携から個人単位でも高まっています。社会問題の解決に向けて「人」との繋がりが重要な時代となり、今後の人財育成や地域での様々な人の力が掛け合わさることで、大きな繋がりに発展していく社会となってきたことを背景に、コミュニティアドバイザー資格を設けることで、専門的な知識とスキルを持つ人財を育成し、地域社会の発展に寄与します。

2. 資格の特徴

コミュニティアドバイザー資格は、実務経験と専門知識を組み合わせた総合的な能力を評価します。資格取得者は、コミュニティの連携や発展における相談・助言、課題の解決に向けた計画の立案や実施、関係者との調整などを行うことが求められます。

コミュニティアドバイザーは、地域のコミュニティに関する知識とスキルを持つことを証明するものとなり、コミュニティや地域住民との繋がりを築き、様々な課題に対してアドバイスや支援を行います。

3. 資格取得のメリット

地域における社会活動や就職・キャリアアップに有利となります。

コミュニティの課題解決や地域の発展に関わる貢献が可能となります。

スキルの向上や専門知識の構築が期待でき、幅広い世代間で繋がりの創出となります。

ICT・IOTが進む近代社会において、新時代に最も求められる「人格形成」に大きく貢献します。

4. ランクアップ講座の追加

コミュニティアドバイザーの資格取得者向けに、コミュニティ内における適切なアドバイスやサポートを提供する役割の強化に向けて、ランクアップ講座を受講することができます。コミュニティリーダー、コミュニティマネージャーとなり、リーダーシップスキルや人財管理、プロジェクトマネジメントなどに焦点を当て、さらなるスキルの習得とキャリアの成長を支援します。様々な社会問題の繋ぎ人として、活躍できる資格となります。

5. 資格プロセス

1. 必要なスキルと知識の習得: コミュニティアドバイザーとしての役割を果たすためには、さまざまなスキルと知識が必要です。まずは、コミュニティ開発、コミュニケーション、リーダーシップ、問題解決などのスキルを習得する必要があります。また、社会学や心理学、組織開発などの関連する知識も身につけていくことが重要です。

2. 関連する経験を積む: コミュニティアドバイザーとしての経験を積むことが重要です。ボランティア活動やインターンシップ担当者、企業連携等の実務経験などを通じて、実際のコミュニティでの働き方や問題解決の経験を積むことが大切です。

3. 資格取得後もトレーニングを意識する: コミュニティアドバイザーとしての資格は、専門のトレーニングプログラムやコースを受講することで取得するものとなるため、受講後もトレーニングとして、コミュニティ開発、コミュニケーション技術、リーダーシップのスキルの強化など、必要なスキルを学ぶ機会に自主的に参加することが必要です。

4. ランクアップ講座の受講: 資格プロセスの一部として、ランクアップ講座を受ける必要があります。コミュニティアドバイザーとしての知識と能力から、リーダーシップスキルや人財管理、プロジェクトマネジメントなどに焦点を当て、さらなるスキルの習得とキャリアの支援となります。

5. 継続的な学習と成長: 資格を得た後も、コミュニティアドバイザーとしてのスキルを磨き続けることが重要です。業界の最新動向やトレンドに関する情報を常にキャッチアップし、継続的な学習と成長を追求することが必要です。

6. 活躍の場の事例

資格取得者は、地域団体や企業団体、地方自治体などで活躍の機会があります。具体的な事例としては、地域のコミュニティイベントの企画・運営、地域の課題解決プロジェクトのコーディネーション、コミュニティメンバーの支援や相談に応じるなどがあります。さらに、学校や企業などでのコミュニティビルディングやチームマネジメントにも関与することができます。